



パブリック・フォーラム 「あの日、そして明日へ」

人口減少社会のなかでの新たな復興、防災のあり方を展望することを目的に、自治会・地域団体・ボランティア・NPO・大学など、市内外の多様な主体による復興や防災に関する取り組みを一般公開により広く発信します。

- とき 8月30日（日）午後1時～
- ところ ライフピアいちじま 大ホール
- 内容 復興1年の歩み、復興合言葉表彰
復興に向けての激励ご挨拶
テーブルトーク「あの日、そして明日へ」
＜キーワード＞ 住民主体による復興と復興感の相関、外部支援者の重要性、地域資源を生かした取り組み、オープンに、協働して行うことの価値



オープニング・イベント「やさかのおんば」

- とき 8月29日（土）午後1時30分～
- ところ ライフピアいちじま 大ホール
- 出演 人情アマチュア劇団「丹波栗」
〔あらすじ〕 村人80余名が暮らすやさか村を突然襲うげにも恐ろしいおんばのたたき！お山は激しく火を噴き、里は死の灰で埋め尽くされる。山裾を荒らす者へのおんばの怒りか。逃れるすべはただ一つ…キノエトラ生まれの若い娘の生き血を瓶に一杯、おんばさまに捧げること。白羽の矢は村の若い衆“藤次”の可愛い妹“ひずも”にたった！どうすりゃいいんじゃ！村人たちは必死で祈る、祈る…そして、やさかの里が迎えた結末は…

心つなぐ実行委員会主催イベント Light up TAMBA「思いやり・感謝・共に復興へ」

- とき 8月29日（土）午後3時30分～8時
- ところ 芝生公園（愛育館前）※雨天時は会場変更
- 内容 キャンドルナイト、ステージ上演、飲食ブースなど



フィナーレ 復興よさこいソーラン

- とき 8月30日（日）午後3時30分～（予定）
- ところ ライフピアいちじま・大ホール
- 出演 丹波沼貫よさこいチーム「一心貫」



丹波市豪雨災害から もうすぐ1年

みなさんにと
 一緒にがんばろうを伝えたいから
 復興イベントを開催します！

復興に向け1年 心つなぐ 2 days ワッショイ 和一处

- とき 8月29日（土）・30日（日）の2日間
- ところ ライフピアいちじま・芝生公園・生きがい創造 いこいの家
- 主催 丹波市
- 共催 心つなぐ実行委員会（丹波青年会議所、丹波市商工会青年部・市島支部・春日支部、丹波市社会福祉協議会、関西大学佐治スタジオ、ちーたん災害サポートネット）

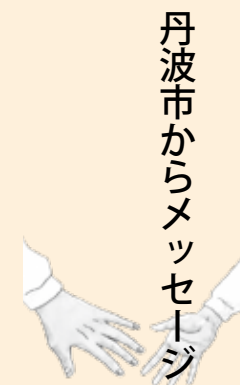
☎ 復興推進室（市島支所内） ☎ 85 - 4622 FAX 85 - 2598

e-mail: fukkousuishin@city.tamba.hyogo.jp

復興の合言葉「心つなぐ」は村岡真知子さん（山南地域）作 文字は千々岩文子さん（柏原地域）

昨年8月の丹波市豪雨災害発生の際に合せて、市民支援者、団体などが一堂に会し、当時を振り返る機会となるイベント「復興に向け1年心つなぐ2 days（デイズ）和一处」を開催します。これまでの支援に対する感謝を表すとともに、さらに復興へ前向きに取り組む契機となることを期待します。

力を合わせ、ともに復興を進めるため、多くのみなさんにご参加をお待ちしています。



丹波市からメッセージ

新潟県中越地震や東日本大震災では、文化・芸術のチカラが「心の復興」を大きく後押ししました。「一心貫」から、みなさんの心にビタミンをお届け致します。私たちの熱い思い！どうぞお受け取りください！（「一心貫」）

豪雨災害から1年という節目を迎える8月に、災害を風化させることなく、市民共同で日ごろの復興復興活動へのねぎらいと市民の心をつなぎ、復興意識を共有し、共に元気になることをめざします。（心つなぐ実行委員会）

再び、自然への畏敬と共生人と人、人と地域の関係づくりから展望を切り開きたい。（人情アマチュア劇団「丹波栗」）

日本人の暮らしと自然との距離が遠くなったことによるものなのか、活券、篤実、質朴、礼節、寛容、思いやり、自己犠牲といった「日本的なもの」が失われつつある。つい4年前の東日本大震災では、「絆」などが問われたことから実感できる。

出演者からメッセージ